



調査研究事業A

「変わりゆく国際秩序における日本の外交戦略 —中国の對外行動分析枠組みの構築を踏まえて—」

困難なテーマに取り組む調査・研究会活動、日本の政策サークルを底上げする実施体制

国際社会の力の分布の変化の担い手である中国に対して、その外行動決定の構造やそれに影響をあたえる国内要因、外交戦略に対する理解は十分ではない。本事業は、誰がどの様に中国の對外行動に影響をあたえているか、そしてその変化を説明するための分析枠組みを提示しようとしているところに新規性がある。本事業では、いまだ成し遂げられなかった中国の對外行動を観察し理解するために、政策サイクルを用いてその分析枠組みを構築し、日本がとるべき総合的な外交戦略の指針を探っている。（右図）

主要な研究者
合計22名

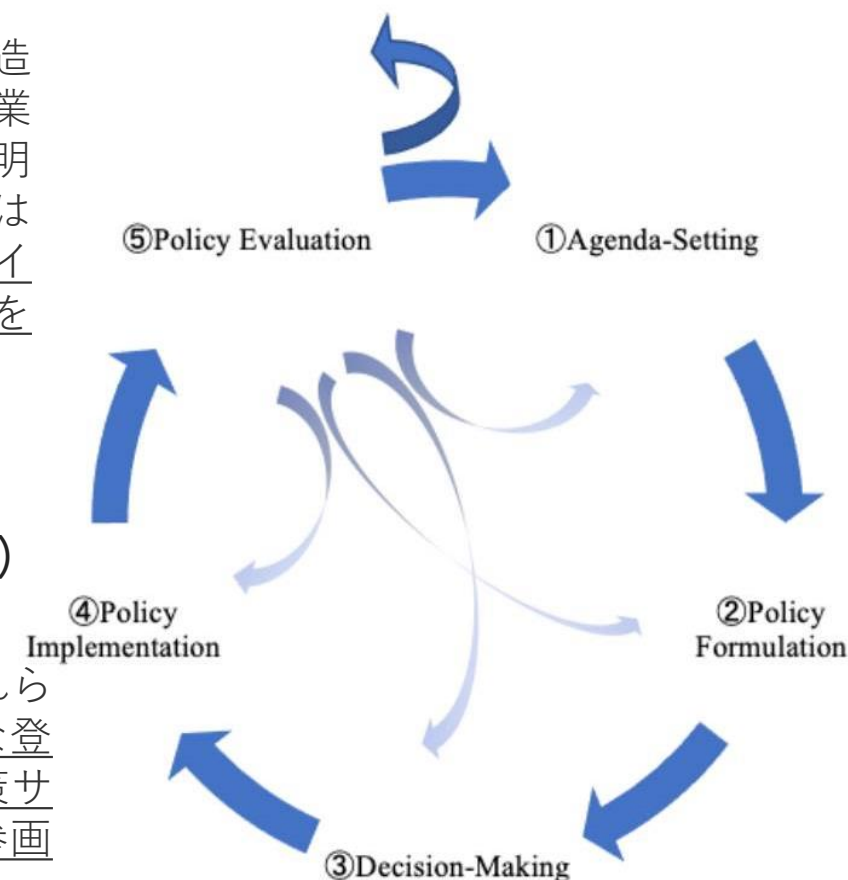
（うち若手11名、女性9名、首都圏以外の在住者9名）

50%

23%

41%

特に、将来を有望視される選りすぐりの若手・中堅専門家も名を連ねる。これらメンバーが各種の研究会合、海外シンクタンと共催のセミナーにおける積極的な登壇・報告、さらに日本語、英語、中国語による論考執筆などを行い、日本の政策サークルの裾野を拡大し、日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画も強化する。





諸外国シンクタンク・有識者との関係強化 日本の主張の世界への発信 国民の外交・安全保障問題に関する理解増進

日中座談会

2021年5月6日、8月30日、11月5日

「日米首脳会談後の日米関係」、「東アジアの経済秩序」、「米国の対アフガニスタン政策」等、機微なテーマを中国の政策決定に影響を及ぼす研究者たちと協議、日本の主張のインプット

共催：北京大学国際戦略研究院

2021年8月～

シリーズセミナー「中国を如何に捉え、どう向き合うか—中国の對外行動を突き動かしているダイナミクスを読む

「公開ウェビナー「2035年の中国—坂の上の雲か坂の下のか」

2021年3月14日

共催：慶應義塾大学現代中国研究センター
防衛研究所

日本国際フォーラム シリーズセミナー（全6回）

「中国を如何に捉え、どう向き合うか」

～中国の對外行動を突き動かしているダイナミクスを読む～

第1回：8月27日（金）18:00～19:00





日本の外交・安全保障問題に関する理解増進

【政策レポートによる 情報発信】

研究メンバーによる最新のコメント
リーを纏めて对外発信。

事業の目的を端的に説明し、以降「メンバー構成」、
「研究会の紹介（動画配信）」、「コメンタリー」、
「活動日誌」、「報告」、「出版案内」、「政策提言」
などの項目に分けて事業成果をHPに掲載し对外発信。
(中央下写真)

分科会の紹介、
テーマに関する
最新の国際情勢
を開設した対談
動画のYouTube
での公開。(右
上写真)



英語、中国語に
よる成果報告の
積極的な配信（
右下写真）

